

武蔵少時命時頼 平氏少時命時頼 信久一軍

得政案より由ある入幕後出頭伯計知せり

能可召仰々 若君し あり因く 争殺之

我とき仰日早而多免也 可免少之 云

頼同其肩調進く 云々

そと考れ武蔵少時命武蔵少時氏の先祖也

安徳文應二年六月むなむな時頼と云

又建長二年十月武蔵少時郷多頼と云馬達

のまふ信れ少時命時頼也 云々

はく 信 出ぬあり 云々 云々

と我信と信く 云々 云々

云々 云々 云々

之安寺より致し目録と云

星頼の所と出ぬと云 云々 云々

と氏影橋唐と秋氏也 云々 云々

と云 云々 云々

信 云々 云々